



「バッグ」にマナーあり

意外に無頓着なバッグの扱い方

打ち合せや商談のとき、ビジネスバッグの扱い方で思わぬ失敗をしていませんか？

◆よくある6つのマナー違反◆

① テーブルの上にバッグを置く

やってしまいがちな失敗の第1位がコレ！「鞆」は「靴」と同じです。足下に置いて、資料などを取り出すときは、一旦膝に置いて素早く行いましょう。

② バッグが「自立」していない

バッグは足下に置きますが、床にぺったり横置きしてはいけません。接地させるべきはバッグの「底」に限ります。「自立しにくい」タイプの場合は、椅子の脚にもたれかけさせるようにしましょう。



③ 肩掛けのまま・背負ったまま訪問！

コートを着たまま玄関に入るのと同じことで、見た目もだらしく見えます。取引先等のオフィスに入る前には、肩掛けや背からおろして手持ち用のハンドルに持ち替えましょう。

④ リュックを背負ったまま満員電車に乗る！

「2016年度 駅と電車内の迷惑行為ランキング」では、「荷物の持ち方・置き方」は第4位となっています。リュックタイプやショルダータイプのバッグは、手持ちにして、身体の前方で抱え込むようにしたいものです。

⑤ 大きなバッグをエスカレーターの下側に置く！

下側に置くと、思いがけない大事故につながることもあります。バッグは常に「自分の上側」に置いて下に落ちないように注意します。大きいバッグの場合は、できるだけエスカレーターを使用するとよいでしょう。

⑥ キャリーバッグを真後ろで引きずる

長期出張などではキャリーバッグが便利ですが、思わぬ接触事故なども起きています。

「ハンドルを伸ばして、身体から離して引きずる」のはダメ。ハンドルを短めにし、真後ろではなく身体に引きつけ、横で引くようにしましょう。

新人の中村です。
よろしく
お願いします。



税理士法人 大平経営会計事務所

〒440-0083 愛知県豊橋市下地町字横山 45 番地の1
TEL : (0532) 53-5333(代) FAX : (0532) 53-5118